

地域包括支援センターの事業評価（令和6年度分）

1. 地域包括ケアシステムの構築・推進

特記がない限り 各項目 1=YES、2=NO

活動目標		取組内容 (ストラクチャー、プロセス、アウトプット、中間アウトカム)		栗東	栗東西	葉山	
1	1	市町村全体を踏まえた担当圏域の現状および将来像やニーズを把握する	A	人口動態、市町村が行う介護予防・日常生活圏域ニーズ調査、在宅介護実態調査の結果等の量的データによって、地域の高齢者に係る現状や将来の状況等を把握しているか	1	1	1
			B	介護保険事業計画、老人福祉計画、地域福祉計画等から、地域の高齢者に係る課題等を把握しているか	1	1	1
			C	センターが行う実態調査によって、担当圏域の現状やニーズを把握しているか	2	2	2
			D	相談内容や地域ケア会議等の内容を分析し、担当圏域の地域課題を把握しているか	1	1	1

2. 組織・運営体制

活動目標		取組内容 (ストラクチャー、プロセス、アウトプット、中間アウトカム)		栗東	栗東西	葉山	
2	1	市町村の実施方針に従って、地域包括支援センターの機能強化に向けた事業計画を作成し、必要に応じて業務改善を図る	A	市町村が定めるセンターの事業の実施方針の内容に沿って、センターの事業計画を策定しているか	1	1	1
			B	今年度のセンターの事業計画に、前年度の事業評価における課題への適切な対応策を含めているか	1	1	1
			C	市町村の実施方針や担当圏域の地域課題等を踏まえ、センターの事業計画に重点目標を設定しているか	1	1	1
			D	センターの事業計画の重点目標に基づいて達成状況を分析し、必要な業務改善を行っているか	1	1	1
3	2	センターが効果的に運営できるように、組織マネジメントを行う	A	センター長等の責任者の役割を文書で明確に示し、職員に周知しているか	1	1	1
			B	センターの事業計画を共有する会議等の機会を設け、これに基づく職員個々の取組内容を確認しているか	1	1	1

C	<p>センターの業務量を把握したうえで、業務の最適化を図るための対応を行なっているか</p> <p>「1. はい」の場合、業務最適化の具体的な内容をお答えください。</p>	1 センター職員が作成する介護予防サービス計画の上限数を決めている。また、センター内でも予防サービス計画の担当件数を業務量に併せて調整している。介護保険の新規申請が増える と、サービス利用が安定している利用者のプラン（マネジメント）を委託で依頼している。	1 センター職員が作成する介護予防サービス計画の上限目安数を設定している。各職員の担当しているケース一覧を作成し、センター内で共有している。	1 ケースの内容や緊急度、専門性をふまえ、保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員それぞれの職種の特性に応じた振り分けをしていきます。業務の負担が一部職員に集中しないように、業務バランスを見直し、業務の最適化に取り組んでいます。
D	<p>特定の職員に業務が偏らず、チームアプローチを推進するために業務分担のルールや仕組みづくりを行なっているか</p>	1	1	1
E	<p>【市町村により選択】 センター業務にICTを活用するなど、センターの業務効率化に取り組んでいるか</p>	1	1	1
E-1	<p>センターの業務効率化の内容についてあてはまるものをすべてお答えください</p> <p>1=職員毎のパソコンやタブレットの配布, 2=Wi-Fiの整備, 3=介護予防サービス計画等のデータ連携のためのシステム, 4=センター間等の総合相談支援事業の効果的な実施のためのデータ共有システム, 5=オンライン相談等のためのタブレット端末, 6=音声入力による記録作成, 7=地域住民がセンターに気軽に相談できる体制整備のためのチャットボット, 8=センター業務の効率化を図るためのAIの導入, 9=その他のICT活用, 10=ICT活用以外の業務効率化の取組</p>	1 2 4	1 2 4	1 2 4 10

				「10」を行っている場合、具体的な内容をお答えください。				地域ささえあい推進員との会議を定期的に行い、地域の情報共有連携強化し、地域啓発の取り組み、そして効率化を図っている。
4	3	センター職員の人材確保および育成を図る	A	センターの人材確保や定着を進めるための取組を行っているか	1	1	1	
			B	センターに在籍する全ての職員に対して、センターまたは受託法人が、職場で研修を実施しているか	1	1	1	
			C	センターに在籍する全ての職員が、計画的に職場での仕事を離れて研修(Off-JT)に参加できるようにしているか	1	1	1	
			D	センターに在籍する全ての職員に対して、センターまたは受託法人が、メンタルヘルス対策を実施しているか	1	1	1	
			E	【市町村により選択】 スーパービジョンまたはコンサルテーションが受けられる体制を整えているか	1	1	1	
5	4	市町村が示している個人情報の取扱方針や苦情対応方針に従い、センターにおいて適切に対応する体制を整え実践する	A	個人情報保護に関する市町村の取扱方針に従って、センターが個人情報保護マニュアル(個人情報保護方針)を整備しているか	1	1	1	
			B	個人情報の持出・開示時は、管理簿への記載と確認を行っているか	1	1	1	
			C	市町村の方針に沿って、個人情報漏えいとセンターが受けた苦情に対して、対処および市町村への報告(共有)の体制を構築しているか	1	1	1	
			D	センターへの苦情内容をもとに業務を改善しているか	1	1	1	
			E	【市町村により選択】 センターに対する利用者や家族からのカスタマー・ハラスメントに適切に対応する体制をセンターとして整備しているか	1	1	1	
6	4	【市町村により選択】 *中間アウトカム指標 *		市町村が「センター職員の定着率」を指標として採用しているか	1 100%	1 83.3%	1 100%	

3. 総合相談支援事業

活動目標		取組内容 (ストラクチャー、プロセス、アウトプット、中間アウトカム)	栗東	栗東西	葉山		
7	1	地域包括支援ネットワークを構築する	A	地域における関係機関・関係者のネットワークについて、構成員、連絡先、特性等に関する情報をマップまたはリストで管理しているか	1	1	1
			B	気になる高齢者等に関して、関係機関、民生委員、地域住民から連絡が寄せられるネットワーク体制を構築しているか	1	1	1
			C	相談経路を分析して、高齢者等への支援に必要な新たな支援機関等と連携しているか	1	1	1
			D	【市町村により選択】 高齢者福祉分野以外の関係機関・関係者と意見交換する機会を設けるなど、分野を横断した新たなネットワークを構築しているか	1	1	1
8	2	市町村と相談事例を共有・分析し、支援に活かす	A	相談事例の分類方法に沿って、1年間の相談件数等を市町村に報告しているか	1	1	1
			B	相談事例の終結条件を、市町村と共有しているか	1	1	1
			C	相談事例の解決のために、市町村への支援を要請し、その要請に対し市町村から後方支援を得ているか	1	1	1
			D	相談内容を分析して、対応ルールの作成や研修の開催等を行い、職員の実践力の向上に活かしているか	1	1	1
9	3	家族介護者支援に取り組む	A	夜間・早朝の窓口または平日以外の窓口(連絡先)を設置して住民に周知し、家族介護者等が相談しやすい環境を整えているか	1	1	1
			B	支援が必要な家族介護者を早期に発見するための取組を行っているか。	1	1	1
			C	家族介護者に対するアセスメントを行い、状態やニーズに応じて適切な社会資源に関する情報を提供しているか	1	1	1
			D	家族介護者からの相談について、相談件数や相談内容を記録等に残して取りまとめているか	1	1	1
			E	【市町村により選択】 家族介護者に対する予防的な取組を行っているか	1	1	1

104	複合的な課題を持つ世帯の相談に適切に対応する	A	相談者とともに複合的課題を整理してニーズを明確にしているか	1	1	1
		B	ニーズに応じて適切な社会資源につなげ、必要に応じてつなげた社会資源と協働しているか	1	1	1
		C	相談内容を整理して、複合的な課題を持つ世帯数・人数・内容等の実態を把握しているか	1	1	1
		C-1	複合的な課題を持つ世帯の相談について、新規に相談を受ける頻度として最も近いものを以下のうちから選んで入力してください 1=独居高齢者 月に10件前後 2=身寄りのない高齢者 月に数件 3=生活困窮 月に数件 4=ごみ屋敷 3ヶ月に数件 5=8050問題 3ヶ月に数件 6=ダブルケアラー 3ヶ月に数件 7=ヤングケアラー 一年に数件	月に数件 月に数件 3ヶ月に数件 3ヶ月に数件 半年に数件 3ヶ月に数件 ほとんどない	月に数件 月に数件 月に数件 月に数件 月に数件 月に数件 ほとんどない	
		D	相談内容を分析して、複合的な課題を持つ世帯の相談対応の改善に活かしているか	1	1	1
5	総合相談事業の負担感		総合相談支援事業を行うにあたり、負担を感じることにについて3つまで回答してください 1=相談者の主訴の把握 2=緊急性の判断 3=利用者との関係構築 4=利用者の家族等との関係構築 5=利用者の生活課題の把握 6=利用者の意思決定支援 7=利用者や家族等からの連絡や要望への対応 8=利用者と地域住民との調整 9=関係機関へのつなぎ 10=センター内のチームアプローチ 11=関係機関や専門職との連携 12=市町村との連携 13=地域住民との連携 14=地域ケア会議の開催 15=社会資源の開発 16=個々のケースの終結の判断 17=個々の相談記録の作成 18=高齢者の実態把握 19=事務作業 20=その他 21=特にない	4 6 14	15 17 19	6 19

	6	総合相談事業の一部委託	指定居宅介護支援事業者等に総合相談支援事業の一部委託を実施しているか 1=実施している 2=実施していないが、次年度以降の実施を予定している 3=実施していない	3	3	3
1 1	7	【市町村により選択】 *アウトプット指標	市町村が「高齢者福祉分野以外の機関からの照会件数」を指標として採用しているか	2	2	2
1 2	8	【市町村により選択】 *アウトプット指標	市町村が「1年間の相談件数」を指標として採用しているか	1	1	1
1 3	9	【市町村により選択】 *アウトプット指標	市町村が「支援を拒否する高齢者等へのアウトリーチのケース数」を指標として採用しているか	2	2	2

4. 権利擁護事業

活動目標		取組内容 (ストラクチャー、プロセス、アウトプット、中間アウトカム)		栗東	栗東西	葉山	
1 4	1	高齢者等の権利擁護のための普及啓発や対応を行う	A	市町村から共有されている成年後見制度の市町村長申立てに関する判断基準を確認しているか 1=確認している, 2=確認していない, 3=市町村が判断基準を共有していない	3	3	3
			B	消費者被害に関する情報を、民生委員、介護支援専門員、ホームヘルパー等へ提供しているか	1	1	1
			C	消費者被害に関し、センターが受けた相談内容について、消費生活に関する相談窓口または警察等と連携の上、適切に対応しているか	1	1	1
			D	高齢者虐待事例および高齢者虐待が疑われる事例への対応の流れについて、市町村と共有しているか	1	1	1
			E	センターまたは市町村が開催する高齢者虐待防止に関する情報共有、議論、報告等を行う会議において、高齢者虐待事例への対応策を検討しているか	1	1	1
			F	【市町村により選択】 センターに在籍するすべての職員が高齢者等の権利擁護に関する研修を受講しているか	1	1	1
1 5	2	【市町村により選択】 *アウトプット指標	市町村が「権利擁護に関する相談件数」を指標として採用しているか	1 535件	1 315件	1 438件	
1 6	3	【市町村により選択】 *アウトプット指標	市町村が「成年後見制度の申立て支援件数」を指標として採用しているか	2 7件	2 1件	2 6件	

5. 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

活動目標		取組内容 (ストラクチャー、プロセス、アウトプット、中間アウトカム)		栗東	栗東西	葉山	
17	1	担当圏域の居宅介護支援事業所の状況を把握し、地域のケアマネジャーの支援ニーズに基づいた対応を行う	A	担当圏域における居宅介護支援事業所のデータ(事業所ごとの主任介護支援専門員、介護支援専門員の人数等)を把握しているか	1	1	1
			B	介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理・分類・件数を把握した上で、研修会、事例検討会、地域ケア会議等を開催しているか	1	1	1
			C	担当圏域の介護支援専門員のニーズに基づいて、多様な関係機関・関係者(例：医療機関や地域における様々な社会資源など)との意見交換の場を設けているか	2	1	1
			D	介護支援専門員が円滑に業務を行うことができるよう、地域住民に対して介護予防・自立支援に関する意識の共有を図るための出前講座等を開催しているか	1	1	1
			E	介護支援専門員を対象にした研修会や事例検討会等の開催計画を策定し、年度当初に指定居宅介護支援事業所に示しているか	1	1	1
18	2	市町村の方針に則り、介護予防サービス計画の検証を行う	A	市町村の方針に沿って、圏域内の居宅介護支援事業所が作成する新規の介護予防サービス計画を確認しているか	1	1	1
			B	市町村の方針に沿って、圏域内の居宅介護支援事業所が作成する更新の介護予防サービス計画を確認しているか	1	1	1
			C	市町村の方針に沿って、圏域内の居宅介護支援事業所が作成した介護予防サービス計画を抽出し、その検証をしているか	1	1	1
			D	【市町村により選択】 市町村の方針に沿って、圏域内の居宅介護支援事業所が作成した介護予防サービス計画を抽出し、地域ケア会議でその検証をしているか 1,2=はい, 3=いいえ, 4=いいえ(市町村が当該指標を採用していない)	4	4	4
			E	圏域内の居宅介護支援事業所が作成した介護予防サービス計画の検証に関して、検証を行う時期を具体的に定めているか	2	2	2
19	3	【市町村により選択】 *アウトプット指標	市町村が「介護支援専門員からの相談受付件数」を指標として採用しているか	1 39件	1 9件	1 13件	

6. 地域ケア会議

活動目標		取組内容 (ストラクチャー、プロセス、アウトプット、中間アウトカム)	栗東	栗東西	葉山
2 0 1	センター主催の個別ケースを検討する地域ケア会議において、多様な視点から個別事例の検討を行い、対応策を講じる	A センター主催の地域ケア会議の運営方針を、センター職員、会議参加者、地域の関係機関に対して周知しているか（運営方針を紙面またはデータで示している場合に該当とできる）	2	2	2
		B センター主催の地域ケア会議において、多職種等と連携して、自立支援・重度化防止等に資する観点から個別事例の検討を行い、対応策を講じているか	1	1	1
		C 市町村が共有した地域ケア会議における個人情報取扱方針に基づき、センターが主催する地域ケア会議で適切に対応しているか	1	1	1
		D 地域ケア会議で検討した個別事例について、その後の変化等をモニタリングするルールや仕組みを構築・実行しているか	1	1	1
		E センター主催の地域ケア会議において、議事録や検討事項をまとめ、参加者間で共有しているか（議事録等を紙面またはデータで共有している場合に該当とできる）	2	2	2
		F 個別事例について検討する地域ケア会議の開催回数は何回か	7回	24回	25回
		G 地域ケア会議で検討した個別事例の実件数は何件か	7件	15件	16件
2 1 2	地域ケア会議において、地域課題を把握し、適切に対応する	A センター主催の地域ケア会議（地域ケア個別会議）において、地域課題の可能性のある課題を抽出しているか	1	1	1
		B センター主催の地域ケア会議（地域ケア推進会議）において、地域課題や自立促進要因について共有し、その後の対応を検討しているか	2	2	2
		C センター主催の地域ケア会議（地域ケア推進会議）において把握した地域課題や対応等を、市町村に報告しているか	1	1	1
		D 地域課題の整理・分析・対応等を行うために、市町村レベルの地域ケア会議（地域ケア推進会議）等に参加または資料提出しているか	1	1	1
		F 地域課題を検討する地域ケア会議の開催または参加回数は何回でしたか	3回	3回	2回
2 2 3	【市町村により選択】 *アウトプット指標	市町村が「センター主催の地域ケア会議を経て、市町村レベルの地域ケア会議に地域課題を報告した数」を指標として採用しているか	1 4件	1 6件	1 1件

7. 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援

活動目標		取組内容 (ストラクチャー、プロセス、アウトプット、中間アウトカム)		栗東	栗東西	葉山
2 3 1	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を適切に実施する	A	自立支援・重度化防止等に資するケアマネジメントに関して、市町村から示された基本方針を、センター職員及び介護支援専門員に周知しているか	1	1	1
		B	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援のケアプランにおいて、保険給付や介護予防・生活支援サービス事業以外の多様な地域の社会資源を位置づけているか	1	1	1
		C	利用者のセルフマネジメントを推進するため、市町村から示された支援の手法を活用しているか	2	2	2
		D	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託した場合は、台帳への記録および進行管理を行っているか	1	1	1
		E	市町村から示された介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託する際の事業所選定の公平性・中立性確保のための指針を遵守しているか	1	1	1
		F	【市町村により選択】介護予防ケアマネジメントの成果を把握するために、要支援者または事業対象者の日常生活の自立度の変化について、定期的な評価を行っているか 1,2=はい, 3=いいえ, 4=いいえ(市町村が当該指標を採用していない)	4	4	4
2 4 2	【市町村により選択】 *中間アウトカム指標 *	市町村が「介護予防ケアマネジメント対象者のうち状態が維持または改善した人の割合」を指標として採用しているか	1 74.2%	1 72.2%	1 65.3%	

8. 包括的支援事業(社会保障充実分)

活動目標		取組内容 (ストラクチャー、プロセス、アウトプット、中間アウトカム)		栗東	栗東西	葉山
2 5 1	事業間連携を推進する	A	在宅医療・介護連携推進事業における相談窓口に対して、相談を行っているか	1	1	1
		B	生活支援コーディネーター・就労的活動支援コーディネーターおよび協議体とともに、地域における高齢者のニーズや社会資源について協議を行っているか	1	1	1
		C	認知症初期集中支援チーム、認知症地域支援推進員またはチームオレンジコーディネーターと、支援対象者に関する情報共有を図っているか	1	1	1

			D	包括的支援事業の充実のために、医療関係者と合同の事例検討会や勉強会に参加しているか	1	1	1
			E	【市町村により選択】 生活支援コーディネーター・就労的活動支援コーディネーターや協議体と協働して地域活動を促進しているか	1	1	1
26	2	【市町村により選択】 *アウトプット指標		市町村が「医療関係者と合同の事例検討会や勉強会の実施数」を指標として採用しているか	1 1件	1 2件	1 3件

9. その他(センターにおける取組等)

活動目標		取組内容 (ストラクチャー、プロセス、アウトプット、中間アウトカム)		栗東	栗東西	葉山
1	業務継続計画（BCP）の策定等	A	感染症や自然災害の発生時において地域包括支援センターの事業継続や早期再開が可能となるように、業務継続計画（BCP）を策定しているか 1=市町村により策定されたセンターのBCPを使用している 2=市町村からBCPに関する方針が示されており、それをもとに自センターのBCPを策定している 3=市町村からBCPに関する方針は示されていないが、自センターのBCPを策定している 4=BCPを策定しているが、介護予防支援事業所としてのBCPである 5=その他	4	4	4
		B	1～3を回答した場合、BCPに関する取組について実施しているものをお答えください	—	—	—